

(資料提供)

月 日(曜日)	担当館名	電話	担当者
10月24日(水)	県立近代美術館	088-668-1088	森 芳功 吉川 神津夫

「日下八光(くさか はっこう)を知る講座」を開催します

県立近代美術館では現在、本県出身の日本画家・日下八光(1899-1996年)のはじめての回顧展、「日下八光日本画展-自然美の探求と知られざる画業」を開催しています。その関連事業として、日下について深く知るための講座を開催します。

日本画家として成し遂げたこと、昭和初期の朝鮮半島で描いたスケッチから新たに分かったことやその意義、後半生を捧げた装飾古墳の模写の成果と意義という、3つの視点からお話します。

日下は、多面的な活躍を見せた画家でしたが、その業績をトータルに知るができる又とない機会です。貴重な資料も画像で紹介しつつ分かりやすくお話しますので、ぜひご参加ください。

- 1 名称 「日下八光を知る講座-3つの視点から」
- 2 日時 平成30年10月28日(日曜日) 13時30分~16時
- 3 会場 県立二十一世紀館イベントホール
- 4 主催 徳島県立近代美術館
- 5 参加費 無料
- 6 内容と講師
 - ① 日下八光の画業について 森芳功(もり よしのり・当館学芸交流課長)
日下が画業で成し遂げたことや人生などについて紹介。
 - ② 日下八光と朝鮮スケッチ 金龍河(キム ヨンハ・韓国 仁川都市研究所長[京成大博士]、日本語で講演)
富井正憲(とみい まさのり・韓国 漢陽大学客員教授)
1928-29年に日下が朝鮮半島に滞在したときのスケッチや関連資料から分かった都市の姿や人的交流など、日本と朝鮮半島を結ぶ新しい知見を紹介。
 - ③ 日下八光と装飾古墳 岡本治代(おかもと はるよ・県立博物館主任学芸員)
装飾古墳についての説明を行った後、日下の壁画模写の成果と歴史的な意義、苦心について紹介。